



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・岩田純子

「辻よし子と歩む会」ホームページ **小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず、コツコツと手作りの政治を!**
http://www.geocities.jp/yt_ayumukai/

まさかの時代が、目の前に……

心のどこかで戦争は過去のことと思い、身近な問題としてとらえることはありませんでした。

「ヒロシマ、ナガサキの原爆」、「沖縄戦」、「東京大空襲」……知ってはいても、自分に引き付けて学ぶ努力が足りなかったのかもしれませんが、そして、なんの根拠もなく、日本で戦争が起きることはもう二度とないと、実に楽観的に、信じて疑うこともありませんでした。

歴史に学ぶ努力を怠ってきた、この 69 年のツケが回ってきたかのように、今、日本社会は大きく変わろうとしています。

まさかの時代—日本が再び戦争をする時代が、すぐそこまで忍び寄ってきています。昨年 12 月 6 日に強硬採決された秘密保護法、その後、あっという間にくずされた武器輸出三原則、そして、集団的自衛権の閣議決定……あれよあれよという間に、戦争のできる日本へと、突き進んでいます。

このまま、安倍政権の暴走を許していたら、日本の若者たちや、これから大きくなる今の子どもたちが、戦場に送られ、よその国の兵士を殺したり、あるいは、殺されたりする事態が生じます。そのときになって、「ああ、どうしてこんな時代になってしまったのだろう」と嘆いても、もう遅いのです。

踏み止まれるのは、今です。



戦争への道を食べ止めるには……

安倍政権は 7 月 1 日の閣議決定で、「憲法 9 条の下でも集団的自衛権の行使は容認される」という憲法解釈の変更を行いました。「日本はこれから、

よその国と一緒に戦争に参加する」という方針が示されたということです。平和憲法を持つ日本では、あり得ない話。しかもそれが、数人の大臣だけで決められてしまいました。

このままいけば、アメリカの要請に応じて世界各地の戦闘地へ、自衛隊員が武器を持って行くようになるでしょう。日本がテロに巻き込まれる危険性が高まる恐れもあります。

「辻よし子と歩む会」は、憲法と民主主義を無視した、この閣議決定に強く抗議します。

「うちの子も、よその子も戦争には行かせない」だから、このままあきらめるわけにはいきません。閣議決定だけでは、まだ戦争のできる体制にはなっていません。今後、さまざまな法律を変える手続きがありますから、それを食い止め、次期の選挙で国民の意志を示すことができれば、流れを変えることができます。すでに、滋賀県知事選では、自民党候補が敗れ、安倍政権 NO! の意思が示されました。

一人ひとりが、この問題についての真実を知り、考え、声に出すことで、社会の流れは変わります。



あきる野市議会議員の考えを知ろう

戦争が起きないようにすることが、政治家のもっとも重要な役割のはず
「戦争もやむを得ない」と考える議員を、あなたは選びますか？

6月の市議会に、市内の市民団体から陳情が出されました。「解釈だけで憲法の中身を変えてしまうのはおかしい」という声（意見書）を、あきる野市議会から政府に出して欲しいという内容です。この陳情では、あえて集団的自衛権の是非を問わず、解釈改憲に焦点が絞られました。

しかし残念なことに、あきる野市議会では、それすら否決されてしまいました。意見書の提出に賛成したのは、共産党、民主党、政和会、公明党。反対したのは、自民党志清会、あきる野市議会自民党で10対10の同数になり、自民党志清会の堀江議長が反対に回って否決されました。

反対の主な理由は、「現在の国際情勢を考えると、集団的自衛権を行使できるようにしておくべき。憲法96条に定められた改憲手続きをしている余裕はないので、解釈改憲もやむを得ない。」

というものでした。憲法を遵守すべき立場にある市議から、このような発言が堂々とされたことに、恐ろしさを感じました。

また、複数の議員から何度か「国を守るため」という言葉が聞かれました。戦争は、いつも「国を守るため」「正義のため」という大義から始まり、その結果、犠牲になるのは弱い立場にある市民です。問題の生じた国とは、あくまで外交努力で解決を図り、戦争にならないようにすることが、政治家のもっとも重要な役割ではないでしょうか。

一方、賛成の立場から、政和会の合川議員、共産党のたばた議員、民主党の中村議員が意見を述べました。いずれも力のこもった賛成討議でした。中でも、合川議員は、「国民の生命と財産を守るという理由で、仮に武力を行使するようなことがあれば、国民の生命は守られるどころか、目には目、歯には歯で戦争に巻き込まれる危険性は逆に高まり、真っ先に攻撃を受けるのは沖縄の人々」「人を殺し合う戦争は絶対ダメ」と、最後



由で、仮に武力を行使するようなことがあれば、国民の生命は守られるどころか、目には目、歯には歯で戦争に巻き込まれる危険性は逆に高まり、真っ先に攻撃を受けるのは沖縄の人々」「人を殺し合う戦争は絶対ダメ」と、最後

★解釈改憲に反対する意見書の提出に賛成○か、反対×か？

会派	議員名	賛否	会派	議員名	賛否	
自民党・志清会	天野正昭	×	公明党	田中千代子	○	
	市倉理男	×		増崎俊宏	○	
	子籠敏人	×		松原敏雄	○	
	澤井敏和	×	共産党	たばたあずみ	○	
	中嶋博幸	×		戸沢弘征	○	
	細谷功	×		山根トミ江	○	
	会・自民党 あきる野市議	堀江武史	×	政和会	合川哲夫	○
		町田匡志	×		野村正夫	○
村野栄一		×	民主党	清水晃	○	
奥秋利郎		×		中村のりひと	○	
	村木英幸	×				

は言葉を詰まらせながら、熱い思いのこもった賛成意見を述べました。

市議会議員は、市政だけではなく、国を左右する重大な国政の問題にも影響を与えます。

もう一度、各議員の考えをしっかりと確かめ、次の選挙の判断材料にしましょう。



辻よし子・プロフィール

1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぶ会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2013年、市議選に立候補、惜しくも次点。現在、夫、高2・中1の息子と草花に暮らす。

「辻よし子と歩む会」
 会員募集中！
 年会費：1,000円（カンパ歓迎！）
 郵便振替
 加入者名 辻よし子と歩む会
 口座番号 00140-9-430053
 ゆうちょ銀行（店番）〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）
 当座 0430053